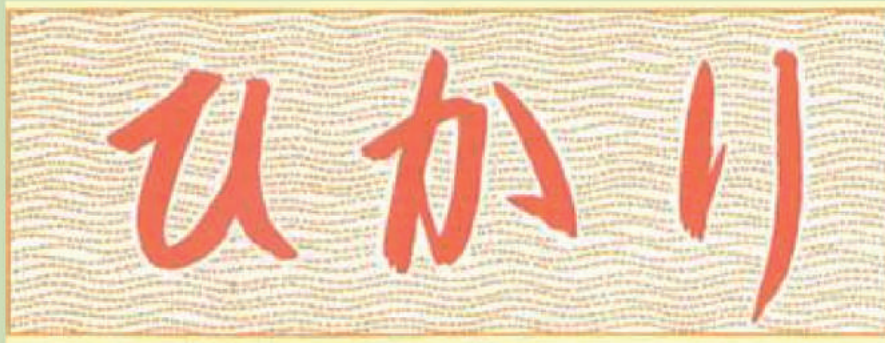


# No.105

2018(平成30)年  
7月1日  
発行

浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組

責任者  
藤本使朗



亀は亀の

ままでいい

兎うさぎになろうと  
しなくていい

東井義雄



## いのちの落語 教区仏教壮年会連盟40周年記念大会にて

ヒダカくん・ひかりちゃん  
の『御文章』のお話 その九

永原智行

ひかりちゃん  
ヒダカくん

蓮如さんは吉崎に何年居たの？  
四年間だよ。

ヒダカ 戦国時代で、各地で武士が戦争をしていたんだけれど、ボーダーレス(境界線がない)でいた真宗の門徒がどんどん膨(ふく)れ上がり、ついに支配者以上の力を持ち出したんだ。

ひかり 加賀(かが)の一向一揆(いっこういっき)ね。領主の跡目争いに武士ではない、百姓である真宗門徒が協力したことね。

ヒダカ うん。よく知っていたね。二千人の犠牲者を出した大規模な一揆だったんだ。これをきっかけに、政治に門徒(民衆)が口を出すという当時では考えられないことが始まったんだ。そのうえ、真宗の門徒の力を利用して勝った人が、門徒を裏切ったんだ。そしてとうとうその領主を自殺に追い込んだんだ。

ひかり 百年間「百姓のもちたる国」といわれるようになるのね。その時、蓮如さんはどうしたの？

ヒダカ 行動を戒め、門徒に自重(じちよう)を求めたんだよ。一揆が激しくなってきた、領主の方から和睦(わぼく)の話があったんだ。この和睦の話は蓮如さんの側近が握りつぶして、蓮如さんに代わって勝手に、「合戦の他なし」と命じたんだ。このことが原因で吉崎を撤退(てつたい)し、大坂に向かったんだよ。蓮如さんは、「仏法を主とし、世間を客人とせよ」と仏教を中心とするが、世の中の方をないがしろにしてはいけないという考えにあったので、真宗教団と門徒を守るために過激な土地と人から逃れたんだね。

ひかり 大坂ってあの大坂。  
ヒダカ 蓮如さんがかわる土地はその後、発展するところばっかりなんだ。蓮如さんは、交通の要所となる造ったんだ。大坂(豊臣秀吉は、大坂の石山本願寺の跡地に大坂城を建てた。文献で大坂というのを残しているのは蓮如さんが最初)・富田林・和歌山・貝塚・枚方・山科・高槻(たかつき)など。町ではないけど、吉野地方(奈良)の村々ができたんだ。

# 法話 お盆



歳を取ると、時が経つのが早く感じられます。  
もう来月はお盆です。  
お盆という仏事は、孟蘭盆会（うらぼんえ）というように、仏説孟蘭盆經（中国でつくられた偽經という説もある）というお経の説話に由来していると言われています。

孟蘭盆經によると、釈尊の十大弟子の一人で「神通（力）第一」の目連尊者が、あるとき亡くなった母親がどの世界にいるのかその神通力で探してみたら、仏教で言う迷いの世界「六道」の一つである「餓鬼道」に落ちて苦しんでいるところを見つけました。  
餓鬼道という世界は空腹を満たすために食べ物や水を口にも運んでもその直前で全て炎となって消えてしまい、飢餓感・空腹感が満たされずに苦しむ続ける世界です。  
さながら逆さまに吊り下げられる「倒懸（とうけん）」の苦しみだと言われます。インドの梵語（サンスクリット語）では倒懸をウランバーナといい、孟蘭盆会とはこの梵語を音写したものです。

ではなぜ目連尊者の母が餓鬼道に落ちたのかというと、生前我が子目連を溺愛し過ぎ、他の人や物をないがしろにしたためにこの世界に落ちたと言われています。

目連尊者は大変驚き、なんとか我が母を救おうと何度も神通力で食べ物や水を差し出しますが、口元まで運ぶたびに全て炎となって燃え尽き、救うどころか逆に苦しみが深まるばかりでした。そこで目連尊者は釈尊に救いを請いますと、7月15日（旧暦）に雨季の安居「あんご、夏（げ）安居」ともいう修行・勉強会

## 「ありがとう」

北山 憲昭

去る5月3日、愛知に住む昭和6年生まれのお義母さんが亡くなりました。ここ数年寝たきりの生活を送られておりました。

結婚間もない頃、妻の実家でお義母さんから、「自分の家だと思つてすごしてね。」と言われました。緊張がほぐれ「はい、ありがとうございます。」と答えました。その後何度も子どもを連れて泊まりに行かせてもらいました。愛知へ行くことは、日常の忙しき、気遣いから開放される大切な時間だと感じていました。愛知の祖父母に孫の顔を見せに行こう、そして、自分もゆつくりさせてもらおうという気持ちで何度も何度も訪れました。

ご飯の用意、お風呂の用意、布団の用意、他にも気がつかないところで準備してくれていたのだと思います。気持ちよく過ごせることが知らぬ間にあたり前になっていました。5月5日の葬儀が終わりになる頃、お義母さんとの他愛ない会話を思い出したのをきっかけに、珍しくしゃくり上げて涙を流してしまいました。実家での出来事が次から次へ思い出されました。

忙しい毎日を送る中、色々な出来事があったり前のことだ、いや当たり前とも考えず、愚痴をこぼすこともしばしば、そんな日々を送っています。目覚め、働き、寝て、目覚め。自分が生きていくこと、家族といっしょにいくこと、特別なことだと思わず、当たり前のことだとも思わず、時に流されてしまっています。

お義母さんが生前わたしに施してくれたことは、どれだけ幸せなことだったか。この葬儀で考えるきっかけを与えてくれたのだと思います。なぜ「ありがとう」とたくさん言えなかったのか、今となってはどうすることもできず申し訳ない気持ちになっっています。

「を終えた僧侶らに盛大な法要を営んでもらい、そのあと僧侶らに敬い感謝の気持ちを持ち「讚嘆供養」施しを与えなさい、そうすれば母は救われるであろう。」と説かれ、目連尊者がその通り実践したところ餓鬼道で苦しむ母が救われたと言います。

この目連尊者の母は、何を隠そう煩惱にまみれたこの私たち自身の姿ではないでしょうか。私たちの行いは、よかれと思つてやっています。私たちが知らないところで他人を傷ついたり、さらには他の尊いものを大事にしななければならぬと思つていても他の命を頂いて否、奪つて生きていけないのが私たちです。まさに、「逆さま」のことを平然と行つていくのがこの私です。

そのことを日常忘れがちであるからこそ孟蘭盆經にちなんで勤められるようになったこのお盆の時期に精進期間を設け、自らの生き方を顧み、懺悔（ざんげ）し、お浄土に往生した方々をご縁として仏教の三宝（仏法僧）を敬い、仏法にあずからせていただいたことをあらためて慶び感謝させていただきます。

これが先祖供養ではない、浄土真宗におけるお盆のあじわい方なのではないでしょうか。



（湯川）

「親切にしてもらったら、ありがとうと言いましよう。」

小さい頃から多くの人から教えられてきたことです。今は子ども達に教える立場となりました。

「ありがとう」と言葉にするのは簡単なことですが、しかし、「ありがとう」が大切なのはなく、そこに当たり前でない、普通でないという思い、つまり「感謝」が必要であるということでしょう。

どんなことでも、慣れてしまふと普通だと疑うこともなく日々をすごしてしまつていきます。30数年前の高校生のとき、「普通が一番難しい」と言った友達がいまいました。この歳になつてその言葉が染みてきます。

これからは感謝の気持ちを忘れず、毎日を大切に過ごしていきたいと思ひます。日々流されてしまわぬように。

DAIJO 5月号 本日発売！  
毎月1日発行 / 85頁 / 88ページ  
1冊375円（税・送料込）  
年間定期購読受付中

特集 ご門主台湾開教地ご巡回  
積 徹宗の随縁探訪 ゲスト 岡村 喜史さん  
お坊さん み跡をめぐる / 宏林 晃信  
臨床医のつぶやき / 川上 明  
いのちのえほん / なかがわあきら×ひじみえ  
これdeわかる歎異抄 / 満井 秀城  
DAIJO法話 / 浅野 執持  
わたしの正信偈 / 玉木 興慈

教専寺の門徒 「あそか診療所」の川上明先生が  
本願寺出版社『大乘』に  
「臨床医のつぶやき」  
を一年間連載します。

## Q、お盆の由来となった故事は？

次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。

- ① 石川五右衛門が地獄の釜の蓋を開けた話
- ② 仏弟子・目連さんの亡母を救った話
- ③ 賽の河原で子どもを救ったお地蔵さんの話

104号の正解は「③ 今、来られている」でした。  
〔解説〕親鸞聖人は、阿弥陀仏の本意は死ぬときだけを問題にされたのではなく、まさに今生きているときの苦悩を救うことにあると説かれました。こちらが呼ぼうが呼ぶまいが、いつでもどこでも時間と場所を隔てることなく、常に救いのはたらきをし続けておられると味わわれたのです。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- 由良町 岩崎 信子 様
- 由良町 久保千代子 様
- 由良町 中崎 エミコ 様
- 由良町 中口小夜美 様
- 由良町 塩田 廣一 様

## 法悦クイズ

ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上、下記までお送り下さい。

〒649-1221  
和歌山県日高郡日高町志賀2988番地  
妙願寺内 日高組事務所 宛

☆抽選で10名の方に粗品を進呈します。

締切 平成30年9月20日(必着)  
発表は次号です

「空海様 チョット・・・」

法明 「弘法大師・空海様はお悟りの仏様におなりになりますか？」

空海様 「当然じゃ、経・密教の經典に説かれる如く、厳しい修行をしておるわ！」

法明 「それでは、いつ仏様におなりですか？」

空海様 「う・・・ん ー 弥勒菩薩が・・・」

空海様は高野山・奥ノ院にて瞑想・三昧にはいつておられる。いつまでかというところ、菩薩が龍華樹の下で大衆を集めて三度お説法をするまで、その大衆の中にいらつしやる。五十六億七千万年後のことです。

『無量寿経・下巻』には弥勒付属（お釈迦様が弥勒菩薩に阿彌陀様の本願を言い渡す）とあります。弥勒菩薩のお説法は阿彌陀様のご本願です。

我々はこの度お浄土に参り、お悟りの仏様。五十六億七千万 弥勒菩薩はとしをへん

まことの信心うるひとは このたびさとりをひらくべし

そこで法明、田舎の名もなき坊主の身、空海様は日本一の名僧。たがいにお悟りの身なれば会つて一言申したい。

「弘法大師様、あまりにも遅いじゃないですか、いったい何をなさつていたのでしょか？名僧だけに迷走されましたか」なんてね！

蓮専寺 岩崎法明



宗祖降誕会(正信念仏偈作法)上下段写真



二尊会…5月13日から16日まで勤修、教区内の教化団体(門徒総代会・仏教婦人会・仏教壮年会・寺族女性会)の年次総会・研修会が併せて開催され、連日大勢のお同行が参拝された。

宗祖降誕会…5月20日に勤修、午前中は初参式が行われ、教区内から10名の赤ちゃんを連れた父兄らが参拝、それぞれに記念写真を撮るなどし、お念仏のよるこびにひたるひとときを過ごされた。

法要後は三浦明利さん(奈良教区光明寺住職)をお迎えし、ギター演奏「歓喜のうた」が法話を交えながら披露され、宗祖親鸞聖人のご生誕のお祝いに花を添えたつどいとなった。

**組内住職も両法要に出勤!**  
日高組実践運動の一環として「法座活動」の活性化を推進するため、両法要には総勢3名の住職が両法要に内陣出勤した。



三浦明利さん(みうらあかり) 光明寺住職。シンガーソングライター。住職を勤める傍ら法話と演奏をミックスしたスタイルで、全国各地で講演活動を行っている。

# 二尊会と宗祖降誕会が勤修される… 鷺森別院



二尊会(奉讃大師作法)16日 上下段写真



二尊会は、各種教化団体の総会研修会を兼ねて開催され、日高組からもそれぞれの役員さんをはじめご門徒らが参拝、連日満堂となりました。4日間を通して法話を頂いたのは、本願寺派布教使、福岡教区願應寺住職の中川清昭師でした。



鷺森別院所蔵 二尊像

## 二尊会の由来

蓮如上人が河内の国出口において教化を施しておられた頃、紀伊国阿間郡冷水浦(海南市冷水)に喜六大夫という篤信の人があって上人のご教化を受け、その教えに帰依し法名を釋了賢と賜りました。

了賢は、ながく法流を伝えようと冷水の飯盛山に道場を設け、蓮如上人御真筆の六字尊号を奉安してお給仕されました。その後、蓮如上人より浄土真宗の宗祖親鸞聖人と中興蓮如上人の連座の御影(二尊像)を下附されました。裏書には、文明8(1476)年にいったん摂津富田へ下付したが、後に清水(現海南市冷水)の道場へ本尊として与えたと、蓮如上人が自ら記されています。紀州門徒は二尊像の下に結集することになり、清水道場が鷺森御坊へと発展した根本であり、紀伊(和歌山)真宗において貴重な法物です。

本願寺鷺森別院においては、毎年5月13日から16日まで、この二尊像を荘厳して二尊会を勤修しています。

# 仏教婦人会綱領が改定されました

今年の2月、仏教婦人会総連盟評議員会において新しい「仏教婦人会綱領」が決定し、4月13日開催の仏教婦人会総連盟総会において公表されました。

改定に至った経緯  
いままでの綱領を読みあげると、仏教婦人会は、既婚女性(家庭婦人)を対象とした団体と受け止められる可能性がありました。仏教婦人会の組織拡充、次世代の育成を考えたとき、現代の社会に馴染みにくくなってきたため、平成28年9月23日付にて「仏教婦人会綱領検討委員会」を組織し、「生き方の多様性を妨げず、誰にでも受け入れられる綱領」という点を重視して、協議・調査を重ねてきました。結果、第25代専如門主伝灯奉告法要、恵信尼公750回忌法要をひとつの機縁とし、改定することとなりました。

「願いをともに」  
「自他ともに心豊かにいきることのできる社会の実現に貢献する」ということは「いのちの多様性」を認めていくことが基本となります。宗門が強力にすすめているそれは阿彌陀さまの願いのお心にもかなうことです。御同朋の社会をめざす運動もその願いのもとにあります。今こそ「生き方の多様性を認めあえる」、まさに「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」ことを目的として出発しなければなりません。そのような願いを込め、このたび「綱領」が策定されたのです。さあ、この綱領のもと、一緒に進んでまいりましょう。

## 仏教婦人会綱領

- 一、 私たちは 親鸞聖人のみ教えに導かれて すべての人びとの幸せを願われる 阿彌陀如来のお心をいただき 自他ともに 心豊かに生きることのできる社会をめざし ともに歩みを進めます
- 一、 お聴聞を大切にいたします
- 一、 「南無阿彌陀仏」の輪をひろげます
- 一、 み仏の願いにかなう生き方をめざします

## 門徒心得

### 盆棚 つくるかつくらないか

あなたは霊の存在を信じますか？  
夏が近づくとテレビ番組でよく流されますね。こんな話、よく聞きます。身内の方の霊に対しては、亡くなったばかりだとおそろしく気持ちが悪く不安定だから、縁側に棚をつくって安心させてあげよう。そうすれば極楽へ機嫌よく旅立ってくれるだろう。先祖の霊は長い時間が経っておそろしく気持ちが悪く不安定しているから家の中に来てもらおう。だから家の中に棚をつくらう、たぶん家族のことを守ってくれるから。また、身内でない方の霊に対しては…  
さまたう霊が家に入ると家族に不幸が降りかかる、さまたう霊が町にいくと町に災いをもたらすなどという方もおられます。だから、悪いことが起きないように、家に、町に棚を作ってきたのでは、霊を鎮めるためにお経を勤めてきたのではと考えられます。  
亡くなってしまう大切な身内の方の霊を呼び寄せ、お供え物をして、棚経を勤める。これが追善供養と呼ばれるものです。この供養をするということは、亡くなった方は未だ仏さまになられていないという解釈になるのかと考えられます。善を追加しなければならぬということですから。

浄土真宗では、亡くなった方の生前の行いの善悪にかかわらず、阿彌陀仏の絶対他力の救いによって、すでに浄土に生まれ仏になっておられる、と説かれています。つまり、盆棚をつくり追善供養などする必要はないのです。浄土真宗の信心を得て仏さまとなった亡くなった方は、盆棚などつくらなくても、阿彌陀さまともいっても私たちのところにきて、お心をかけてくださっているのですから。

さて、今年もお盆が近づいてきました。亡くなられた方をご縁に、頂いた命の尊さを再確認する日、先祖に感謝する日、人として生まれお念仏の教えに出会えたことを改めて喜び感謝する日。そんなお盆をご家族みんなでお迎えしていただければと思います。



# 日高組御同朋の社会をめざす運動 〈実践運動〉推進計画が策定される 実践

第3期(2018~2020年)日高組実践運動推進計画が3月開会の日高組定期組会にて承認され、いよいよ実践に向けての具体的な取り組みが策定されました。

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)スローガン

## 結ぶ絆から、広がるご縁へ

- From tying bonds to great encounters -

実践目標

貧困の克服に向けて

(Dāna for World Peace)

—子どもたちを育むために—

達成目標 次世代につなげよう 念仏の声を！！

1. 子ども・若ものたちにお寺とのご縁を深められる取り組み
2. あらゆる世代に、より多くの参拝を促す活動

重点プロジェクト

真宗法座と第10期組連研を開催し、門徒推進員を養成する子ども・若ものたちに阿弥陀さまのご縁をつくる各寺院の法座に積極的に参拝できるイベントを企画する家庭で実践できる「食事のこぼ」を推進する

第3期日高組実践運動推進委員会委員

組委員会	組役職	氏名	所属寺
委員長	組長	藤本 使朗	即生寺
副委員長	副組長・庶務	楠原 晃紹	妙願寺
副委員長	副組長・会計	永原 智行	教専寺
常任委員	教区会議員	鈴木 悟峰	善宗寺
常任委員	教区会議員	川瀬 貞夫	妙願寺
常任委員	僧研部長	松本 秀法	信行寺
常任委員	青少年部長	荻野 益次	浄明寺
常任委員	広報部長	北山 憲昭	光専寺
常任委員	総代会部長	岩崎 法明	蓮専寺
常任委員	仏婦部長	菅原 吉人	専福寺
常任委員	仏社部長	鈴木 章吾	善宗寺
常任委員	寺婦会長	藤本 弘子	即生寺
常任委員	門徒推進員	川崎 英直	即生寺
委員	僧研副部長	藤田 孝雄	西教寺
委員	僧研副部長	丸山 妙子	一行寺
委員	青少年副部長	荻崎 教信	覚性寺
委員	広報副部長	湯川 千秋	円明寺
委員	総代会会長	田端三津雄	宝国寺
委員	総代会副会長	片桐 淨映	円行寺
委員	総代会副会長	上西 信行	念興寺
委員	仏婦会長	田原 寛子	長覚寺
委員	仏婦副部長	林 英雄	宝国寺
委員	仏社会長	森下 将美	浄明寺
委員	仏社副部長	亀井 真竜	長覚寺

教学研修部門		
部長	松本 秀法	信行寺
副部長	藤田 孝雄	西教寺
副部長	丸山 妙子	一行寺
子ども若者育成部門		
部長	荻野 益次	浄明寺
副部長	荻崎 教信	覚性寺
広報伝道部門		
部長	北山 憲昭	光専寺
副部長	湯川 千秋	円明寺
組三役・上西・岩崎・菅原		

各種教化団体部門		
会長	田端三津雄	宝国寺
部長	岩崎 法明	蓮専寺
副部長	片桐 淨映	円行寺
副部長	上西 信行	念興寺
会長	田原 寛子	長覚寺
部長	菅原 吉人	専福寺
副部長	林 英雄	宝国寺
会長	森下 将美	浄明寺
部長	鈴木 章吾	善宗寺
副部長	亀井 真竜	長覚寺
会長	藤本 弘子	即生寺

教区実践運動推進委員	組役職	氏名	所属寺
	総代会部長	岩崎 法明	蓮専寺

任期: 2018.4.1~2020.3.31 2力年

門徒推進員養成活動部門		
門徒推進員	川崎 英直	即生寺
組連研運営委員会	三役・川崎英直・湯川千秋・荻野益次 北山憲昭・鈴木悟峰・片桐淨映	

第3期2ケ年の実践運動推進計画では、「結ぶ絆から広がるご縁へ」のスローガンを継承しつつ、実践目標には昨今の社会問題としての「貧困」の克服が宗門の課題として挙げられ、日高組においても同様の目標を掲げる事となりました。組の達成目標として「次世代につなげよう 念仏の声を！！」子ども若者が気軽ににお寺に入り、ご縁が深められる取り組みと、あらゆる世代が法座に参拝できるような創意工夫を

することを掲げました。具体策としては、子ども若者を対象としたイベント企画、各寺院で勤修される報恩講など法要を組報やホームページで公開することなど話し合われました。また、第10期連研を12月に開講し、門徒推進員の育成に力を入れるとともに、毎日の家庭での実践として「食事のこぼ」を門徒に配布し、「食といのち」について家庭や寺院で話題に取り上げるなど、次世代にお念仏のみ教えを伝えるための重点プロジェクトを掲げ、今後2年間、組を挙げて実践してゆきます。

## 門徒総代会・仏教婦人会 総会・研修会を開催

研修会では会所寺院の長覚寺亀井真竜住職よりご法話をいただきました。続く総会では、昨年度の事業報告・決算報告、今年度事業計画、予算案、役員改選など審議され可決、新会長に比井長覚寺の田原寛子さんが選出されました。今後のご活躍を念じ上げます。

門徒総代会・総会では昨年度の事業報告・決算報告、今年度事業計画、予算案、役員改選が上程され、それぞれ承認可決しました。研修会では総代会部長の岩崎法明師が登壇し、法話形式での研鑽をしました。(写真上段)

仏教婦人会・総会に先立ち29年度物故会員の追悼法要が営まれ、遺族らとともにご遺徳を偲ばせていただきました。



# 日高組通信

## ☆行事報告

### ◎29年度日高組定期組会

29年度日高組定期組会が3月31日、日高町志賀即生寺にて開催され、僧侶・門徒の組会議員が出席、第3期御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の推進計画の策定と29年度事業報告、決算報告並びに30年度事業計画案、予算案が審議され、それぞれ原案通り承認可決されました。また、組会に先立ち組役職者の追悼法要が勤修され、専福寺菅原住職による法話がなされました。

### ◎門徒総代会

30年度定期総会が4月14日、由良町里蓮専寺にて開催されました。(7面参照)

### ◎仏教婦人会

30年度定期総会が4月29日、日高町比井長覚寺にて開催され、総会に先立ち29年度の物故会員追悼法要が執り行われました。(7面参照)

### ★和歌山教区仏教壮年会連盟

#### 結成40周年記念大会

6月2日(土) 鷲森別院にて「ともに聞き ともに生きる」〜新たな始まりで 朋友の輪を拓げよう〜のテーマのもと教区仏教連盟記念大会が開催され、日高組からは20余名が参加、40年の節目を迎え、教区内外から400名近く集まり盛大に祝いました。

記念法話は安芸教区妙蓮寺住職高橋哲了師、講題は「親鸞聖人のみ教えに聞く念仏の救い」でした。仏教壮年会連盟綱領のもとに、ご本願に学ばせていただき、聖人のご生涯に学ばせていただき、お念仏に生きる生活を勤しむことをわかりやすくお取り次ぎいただきました。

記念講演は「いのちの落語―笑いをお供に輝いて生きる―」の講題で、作家でいのちの落語家、樋口強さんが登壇、ガンによる後遺症を抱えながらも笑いの人生をトークと落語で伝えていただき、講演終了後も大きな拍手がやみませんでした。(1面写真)



和歌山教区仏教壮年会連盟40周年記念大会  
満堂の鷲森別院、教区内各地より壮年らが集結しました

### ◎組内会

第1回組内会が、6月16日に志賀即生寺にて開催され、第3期御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の具体的な推進計画などについて話し合いました。

### ◎寺族婦人会

6月20日、日高別院にて研修会を開催し、別院の永代経法座を聴聞しました。

### ☆行事予定

#### ◎門徒総代会前期研修会

7月14日(土)午後1時半から蓮専寺にて開催予定です。

#### ◎日高組キッズサンガ(子どものつどい)

8月4日(土) 由良町大引浄明寺にて12回目となるキッズサンガが催されます。「次世代につながるよう 念仏の声を」の実践目標のもと本堂境内を舞台に楽しいイベントを行いますので多くのご参加をお待ちしています。募集など詳細はお手次の寺院より案内しています。

**食前のことは 合掌**

●多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

(同音)深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

**食事のことは 合掌**

●尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。

(同音)おかげで、ごちそうさまでした。

**食後のことは 合掌**

### お知らせ

このたびは光専寺坊守北山美和さん(釋美和)が得度を受式されました。今後のご活躍を念じ上げます。

### 読者の声

※感謝。いつもありがとうございます。

※いつもお世話になります。春が短く、夏がやっつきそうな日々過ぎます。

※いつもひかりを頂き読ませていただいております。ビハラー活動は知っていたのですが、本願寺あそび診療所の所在を初めて知りうれしく思いました。6月2日の和歌山教区壮年会の記念行事にも参加させていただきたく思っております。

※いつも、ひかりを読ませてもらっています。今年で寺役員はおわりです。

ひかり編集委員会(広報部)では読者の皆さんからの投稿を募集しています。「法悦クイズ」に是非チャレンジしましょう。同時にご意見ご感想を添えていただければ幸いです。